

光遍寺新聞



第 6 号

発行所

〒638-0315
奈良県吉野郡
天川村沢原 141
浄土真宗 本願寺派
仏照山 光遍寺

電話番号
0747-63-0638
ホームページ
<http://www.kouhenji.org>

今月の法語

遠くなった耳が
世音の中に
仏様の声を
ふと聞かせていただく
(榎本栄一)



報 恩 講 勤 まる



お斎の膳



お斎の風景

満堂の本堂に声響く ～ 報恩謝徳 ～
平成一九年十月十三日
(土)～十四日(日)、報恩講が勤まりました。沢山お参りいただき、無事終える事ができました(上写真は二日目夜座の様子)。
一日目、昼座の後、早朝より仏教婦人会の皆様が心を込めて作ってくださいました(左写真上)。本当においしかったです。今となつては報恩講に、このようなお斎を行っているお寺は非常に少ないです。ご苦勞をおかけするのですが、光遍寺の伝統として、是非続けたいと思っています。

前号にも書きましたが、報恩講は浄土真宗では最も大切な法要です。ですから、お荘厳(お飾り)も法要の中でも最も豪華です。あまり知られていないこのお荘厳ができるまでをご紹介します。仏華は赤井正一さんが

報恩講の裏側

そして、しつこいですが、本堂においていますから、来年は若い方もお子さんをもっと多くの方がお斎を経験していただければと思います。
布教使の阪本先生は、本願寺に勤務される傍ら布教活動をされています。若いですが、場数を踏んでおられますので、非常に聞きやすいお話で、参拝の皆さんも聞き入っておられます。後述の念仏奉仕団では、当日はお休みだったにも関わらず、わざわざ本願寺までご挨拶に来てくださったそうです。



本尊前(正面) お荘厳

材料調達から全て一人で行ってくださっています。その作品は芸術的です。目下の問題は後継者がいないことです。興味のある方は赤井さんまたは光遍寺までご連絡下さい。
お供物は婦人会の方々が中心になって作ってくださいます。お団子はきれいに積み上げ、色をつけます。落雁(らくがん)は色を交互にして盛り付けます。
ご協力いただいた皆さん、本堂にご苦勞様でした。



落雁の盛り付け



盛り付けた団子に食紅で色を付けます。



団子の盛り付け



仏華完成品



仏華を生ける赤井さん

門信徒 広場

今回は難しいでしょうか？下の表の①～④に漢字を一字入れてください。

衆	共	同	①	之	定	正
時	①	信	唯	因	度	為
俗	道	南	無	刹	群	生
称	仏	聞	不	塵	照	彰
唯	如	信	可	思	②	一
③	来	④	誓	議	月	①
悪	重	極	願	②	日	超

ヒントは、『正信偈』です。
同じ数字のところには同じ漢字が入ります。
よくよく眺めていると見えてくると思います。
分かれた方は光遍寺までご連絡下さい。
先着5名様に、記念品を差し上げます。

《第 5 号門信徒広場の答え》

親鸞聖人は、

- ① 青蓮院にて、(9)才で得度された。
 - ② 比叡山で厳しい修行をされたが、自力修行の限界を感じ、(29)才のとき下山し、法然上人と出会う。
 - ③ (35)才のとき、専修念仏の禁止により、越後国の国府に流される。
 - ④ やがて罪は許されるが、京都には戻らず約(20)年間関東で布教活動される。
 - ⑤ 京都に帰られ、弘長2年、旧暦 11 月(29)日、(90)才にてご往生される。
- 正解されていましたか？

ちょこっと ほうわ

英語に「有り難う」という言葉はない、といえ驚かれる人が多いでしょう。そして「サンキュー」という言葉があるじゃないかと反論なさるにちがひありません。けれども、事実として「有り難う」という表現の正確な意味をつたえる言葉は英語にはありません。「有り難う」と「サンキュー」はたまたま同じ場面で用いるだけで、意味はまったく異なるのです。日本語の「有り難う」は文字どおり「有ることがむづかしい」という意味で、感謝の心をあらわすために「あなたが私にしてくださったご親切はざらにあるようなものじゃない」という意味で使われているのでしょう。そこまで考えてはじめて「私はあなたに感謝します」という意味の英語である「サンキュー」に通じるものが出てくるのです。

「有り難う」の根底には、まず私たちが人間として生まれたことの有り難さ、そして仏法に遇うことの有り難さがあります。私たちはふつう自分が自分であることに驚きを感じることはありません。しかし、実はこれほどの不思議はないのであって、それが現実である以上、人として生まれたことを喜び、遇いがたい仏法に遇ったことを喜び、さらにその有り難さの意味を追求しないともったいないでしょう。言葉は歴史の中でつくられます。「有り難う」とう言葉の中には、有り難いこととの出会いを喜びながら生きていって欲しいという先人達の願いが感じられます。

第31回 念仏奉仕団

◆◆◆ 光遍寺念仏奉仕団マナーの良さは日本一 ◆◆◆



約500人が参加しました

平成十九年十月三十日(火)、三十一日(水)、念仏奉仕団として光遍寺から三十人の方が参加されました。
当日は全国各地から約五百人が念仏奉仕団に参加し(写真上)、奉仕作業にいそしまれました。自らの手で本願寺の総御堂や施設内の清掃をすることによって(写真中、下)、更に本山を身近なものとして



総御堂内の拭き掃除

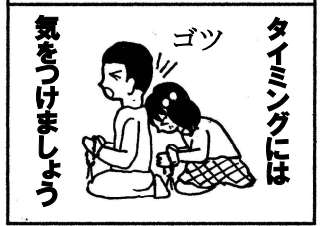
感じられたのではないでしょう。また、宿舎の興正会館では、チェックアウト時に「これほどマナーの良い団体は初めてです。」とお褒めの言葉をいただいたそうです。光遍寺念仏奉仕団が全国的に見ても誇れる集団であることが分かります。
来年度は十一月六日(木)七日(金)に決定し



敷地内の掃き掃除

ております。今から予定を空けておいていただき、一人でも多くのご参加をお待ちしております。

阿弥ちゃん!!



礼拝 合掌
ちやうど「えー?」
合掌はみぞおち辺りに軽く当て
礼拝は背筋を伸ばして
前方に約四十五度傾けます。
45°
タイミンクにはゴツ
気をつけましょう